総合教育会議　協議事項　②部活動の地域展開について

1　国の方針について

令和 13 年度末までに休日の部活動を地域展開

2　令和８年度　学校部活動・地域クラブ活動について

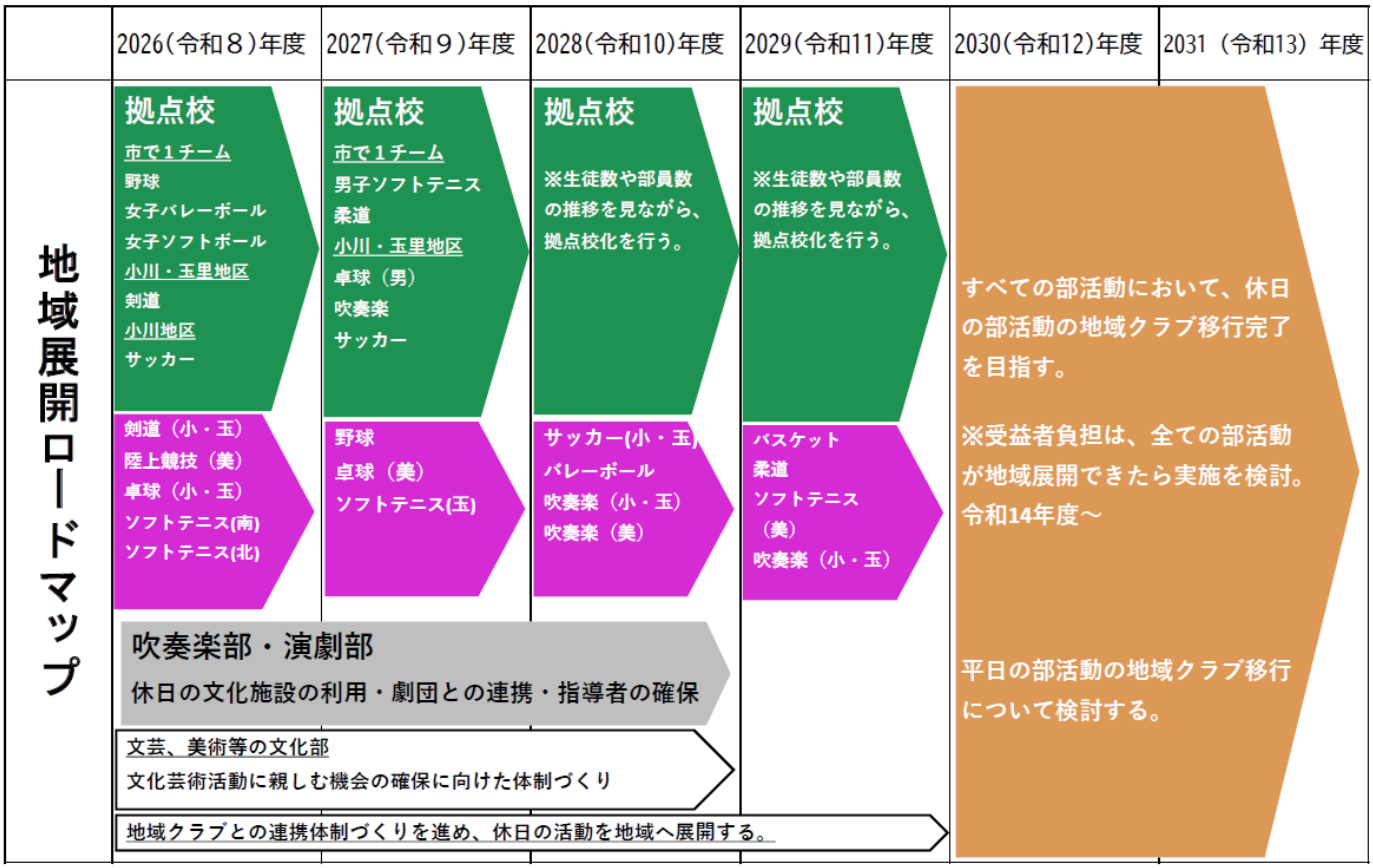
（１）拠点校部活動

①女子バレーボール：小川北義務（拠）小川南中・美野里中・玉里学園
②剣　　道　　：小川南中（拠）・小川北義務・玉里学園
③軟　式　野　球　：美野里中（拠）・小川南中・玉里学園・小川北義務
④女子ソフトボール：美野里中（拠）・小川南中・玉里学園・小川北義務
⑤サッカー　　：小川北義務（拠）・小川南中

（２）地域クラブ活動

No		種目	指導者	参加校
1	継続	剣道	小川剣友会	小川南・小川北義務・玉里学園
2	継続	陸上	美野里クラブ	美野里中
3	継続	女子ソフトテニス	2名	小川北義務
4	継続	卓球	2名	玉里学園
5	新規	卓球	2名	小川・玉里地区
6	新規	女子ソフトテニス	2名	小川南中

（３）部活動地域展開のロードマップ



※ロードマップの 2 段目の五角形…地域クラブへの移行を目指す種目。指導者の確保が課題。

（４）学校部活動から地域クラブへの移行

①部員数調査を行い、計画的に市内部活動を拠点校化（教育指導課）

②部活動指導員を配置し、単独で指導ができるように学校と連携して指導（教育指導課）

③部活動指導員が地域クラブ指導者として指導(スポーツ推進課･小美玉スポーツクラブ･文化芸術課)

※①②③の流れで、指導者の養成と部活動から地域クラブへの移行を行う。

※指導者の確保は、教育指導課、スポーツ推進課、文化芸術課が連携して行う。

２　令和８年度部活動地域展開に向けた各課役割

教育指導課	スポーツ推進課・文化芸術課	小美玉スポーツクラブ
・検討会議の開催 ※5 月・7 月・9 月・11 月・2 月 ・拠点校化推進 ・部活動指導員の確保 ・市職員の兼職兼業（人事課） ・教職員の兼職兼業（指導課） ・指導者確保 ・学校との調整 ・保護者への説明	･認定地域クラブ活動の認定に関する要綱 ・受益者負担制度整備 ・地域クラブへの指導助言 ・緊急時対応マニュアル作成 ・補助金申請 ・施設優先利用 ・指導者確保 ・施設整備（夜間練習用照明含）	・事務局 ・委託業務遂行

３　今後の課題

先進地区は「事務局」を立ち上げている（笠間市、ひたちなか市、龍ヶ崎市等)。

※大前提として、指導者の確保が最重要課題

○制度設計に関する課題

・認定地域クラブ活動の認定に関する要綱

→県保健体育課より助言。制度設計を適切に行い、クラブ運営、指導者の確保をする必要がある

・市職員兼職兼業要綱、教職員兼職兼業要綱

→他市では、県職員や市職員、教職員の活用も進んでいる。※民間、大学生の活用もあり

・指導者講習に関すること

→ハラスメントやコンプライアンスに関する研修体制をどのように構築し、実施するか。

・受益者負担に関すること

→金額設定、開始時期等

○運動部

・屋外照明整備（平日の地域展開を見据えて）

→学校施設に照明を整備。平日地域展開した場合、夜間の活動が予想される。生徒の移動等を考えると学校施設で活動することが望ましい。地域施設の場合、一般団体との調整が必要となる。

○文化部（吹奏楽部）

・練習場所（文化センターの活用）

→文化センターを平日、休日ともに地域クラブが優先的に利用できるようにしたい。
文化センター内に楽器を保管できる場所があるとよい。

（参考）別紙：広報おみたま令和８年３月号「部活動の今とこれから」記事

DIAMOND CITY OMITAMA
ダイヤモンドシティ小美玉
見つける。みがく。光をあてる。

もっと小美玉を語りたくなるマガジン

広報おみたま 第240号

2026年 令和8年 3

contents

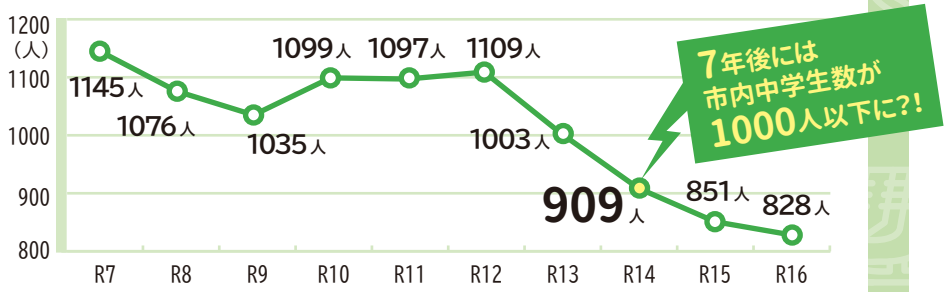
［特集］部活動の今とこれから 2-5
子ども議会 開催報告 6-7
わだい 8-10
TOPICS 11-17
物価高騰対策事業（プレミアム商品券ほか） 18
4コマ小美玉暮らし 20

20th anniversary 小美玉市 市制施行20周年

学校の部活動はなぜ変わる？どう変わっている？

これまで学校教育の一環として親しまれてきた部活動が、大きな転換期を迎えています。背景には、少子化による生徒数の減少と、指導を担う教員の長時間勤務という全国的な課題があります。市内の状況を見ると、令和7年度の中学生数（義務教育学校を含む）は1,145人ですが、令和14年度には1,000人を下回る見込みです。運動部ではすでに、部員不足によりチームが組めず、他校との「合同チーム」で大会に出場する競技もあります。このままでは、子どもたちが「やりたい競技や活動」を続けたくても、受け皿がないという事態になりかねません。そこで市は、生徒にとって望ましい持続可能な活動環境を整えるため、学校という枠組みを超え、地域全体で支える「地域展開」に向けた改革を進めています。

小美玉市内中学生数の推移見込み（義務教育学校含む）



※小学1年生から中学3年生までの在籍人数（令和7年5月1日現在）および住民基本台帳から試算

これから BUKATSUDOU NO IMA TO KOREKARA

小美玉市が取り組んでいく学校部活動の地域展開

今後の中学生の減少に対応するため、学校部活動の改革に取り組み、まずは休日の部活動から段階的に地域展開を進めます。単一校での部活動運営を見直し、実態に応じて複数校による「拠点校」や、地域が主体となる「地域クラブ」への移行を目指して実証事業を行っています。改革には、指導者の確保や、家庭に運営費等をご負担いただく「受益者負担」のあり方など、解決すべき課題も多くあります。しかし、地域指導者の専門的な視点が入ることは、技術向上はもちろん、多様な大人との交流を通して成長につながるという面もあります。子どもたちがスポーツや文化活動に親しめる地域であり続けるために、皆さまのご協力をお願いします。

問 教育委員会 教育指導課 ☎0299-48-1111(内線2232)

段階的に進む地域展開

地域主体	学校主体	学校主体
地域クラブ（小美玉スポーツクラブ等）	拠点校	合同チーム
社会教育の一環として、地域のスポーツ団体や文化団体などが主体となり活動する。	市内一つの学校が他校の生徒を受け入れて活動する。拠点校として大会に参加可能。	部員数が少人数のため単独で大会に参加できない場合、複数校で大会に参加する。

今月の表紙

多くの中学生が打ち込んでいる学校の部活動。市内中学校には運動部が10種目、文化部が3種目あり、約8割の生徒が部活動に所属していますが、少子化の影響でこれまで通りの活動を続けることが難しくなっています。
子どもたちがスポーツや文化活動に親しみ、心身の成長につなげられる環境を維持するために。部活動の今とこれからのこと、考えてみませんか。

拠点校

軟式野球

オール小美玉クラブ

2025年夏の総体後から、拠点校として活動を開始しました。合流した当初は生徒も緊張があったと思いますが、野球が好きな者同士、すぐに打ち解けました。今では学年を問わずお互いを認め合える、非常に仲の良いチームになりました。
今のチームの強みは、「野球に全力で取り組む」という目標に向かって、練習から一生懸命に頑張れることです。それが、試合の厳しい場面での踏ん張りにつながっていると思います。
指導では、どの学校の生徒にも分け隔てなく接することを心がけています。生徒の成長を保護者や指導者みんなで喜べるのが、何より嬉しいですね。

監督
藤田（ふじた） 明英（あきひで） さん
（玉里学園義務教育学校 教諭）

ぶかつどうの今と 部活動

拠点校「オール小美玉クラブ」の場合

休日
土日のどちらか一方は、美野里中学校での合同練習や他校との練習試合などを実施。

拠点校（美野里中）

平日練習 ↙ 小川北義務

平日練習 ↗ 玉里学園

平日練習 ↖ 小川南中

チームみんなで集まれる休日練習は楽しいです！団結力も上がります。

副主将
村尾（むらお） 優樹（まさき） さん（美野里中学校）

地域クラブ（実証事業）

卓球

男子卓球クラブ

玉里学園義務教育学校卓球部のうち、希望する生徒が参加しています。毎週土曜日の練習は3時間。平日に比べて時間が確保でき、基礎から応用までしっかり取り組めます。素振りやフットワークから始まり、実戦に近い練習まで、コーチ2名で指導しています。

総体で中央地区に進める力をつけることを目標にしつつ、楽しく続けてもらうことを大事にしています。引退後の9年生でも、勉強に支障のない範囲で通う生徒もいて、卓球が好きな子の受け皿になっていると思います。

コーチ▼
鶴町（つるまち） みち子さん　川崎（かわさき） 明祐（あきひろ） さん

練習を重ねるうちに、大会でも勝てるようになりました。覚えた技が決まるとうれしいです！

キャプテン▶
田口（たぐち） 大翔（やまと） さん
（玉里学園）

地域クラブ「男子卓球クラブ」の場合

平日の放課後は学校の体育館で練習。土曜日は「タスパ」のトレーニングルームで、地域クラブとして練習している。

平日練習
男子卓球部
玉里学園

⇄

休日練習
男子卓球クラブ
タスパ
ジャパンミート パーク

地域クラブ参加者の声

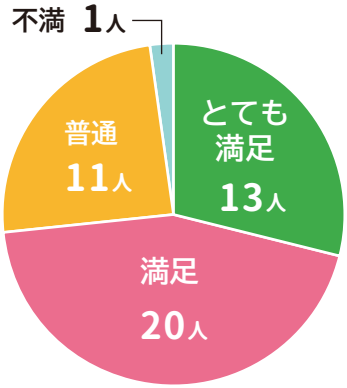
出典：小美玉市地域クラブ活動実施状況に関するアンケート（令和６年８月）
（回答者：45 人）

練習や指導者の質向上が活動の満足感に

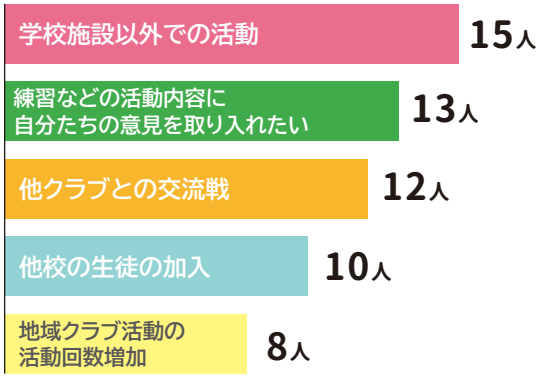
地域クラブ参加者の73%が「とても満足」「満足」と回答しました。そのうち、満足の理由として「練習の質」を挙げる方が24人（53%）と最も多く、「指導者の質」が18人（40%）と続きました。

今後は学校以外での活動を希望する声も多くありました。

Q. 活動の満足度は？



Q. 今後さらにあったらいいなと思うものは？



地域クラブ（実証事業）

演劇 美野里中学校演劇部

校内での平日の部活の他に、月に1～2回はみの～れの舞台を使って公演本番と同じ環境で稽古をしています。卒業生で俳優の廣木葵（ひろき あおい）さんや、みの～れ技術スタッフの阿部喜一（あべ よしかず）さんからは、演技・照明・音響などの専門的な助言をいただき、私たちも聞き漏らすまいと真剣です。演劇作品作りを通して、部員の主体性やコミュニケーション力が育っていると感じます。

〈美野里中学校演劇部　部長　古森華絵（こもり はなえ）さん〉

平日練習 演劇部 美野里中 ⇄ 月1～2回 技術指導・演技指導 四季文化館みの～れ

地域クラブ（実証事業）

陸上 美野里クラブ

美野里クラブジュニア部は小中学生が所属し、毎週日曜日に活動しています。美野里中陸上部の希望者や陸上部のない中学校の生徒、他の部活との兼部、市外からなど、幅広く参加中です。指導では言葉で指摘するよりも、練習の中で自然に上達できるメニュー作りを心がけています。他の競技と同じく、今後も継続していくためには指導者の確保が課題だと思います。

〈美野里クラブ
ジュニア部代表
小村幸一（こむら こういち）さん〉

平日練習 陸上部 美野里中 ⇄ 日曜日 美野里クラブ 石岡運動公園など

学校部活動・地域クラブ
（令和8年4月）

休日の活動について拠点校や地域クラブへの移行を進めます。

□男子 ○女子 ◎男女混合 ●単独または合同チーム ●拠点校 ●地域クラブ（国庫補助事業）

	野球	サッカー※	ソフトボール	ソフトテニス	剣道	陸上競技	柔道	卓球	バスケットボール	バレーボール	演劇	美術 学芸・文芸	吹奏楽
小川南中	○	◎	●	●	拠	—	—	□●	□●	●	—	◎	◎
美野里中	拠	◎	拠	□●	◎	◎	◎	□●	□●	●	◎	◎	◎
玉里学園	○	◎	●	●	◎	—	—	□	□●	●	—	◎	◎
小川北義務	○	◎	●	●	◎	—	—	□	—	拠	—	◎	◎

※小川南中、小川北義務のサッカー部は、令和8年総体後に拠点校となります。